

# 東西不動産ホーム通信

## 快適な住まいを応援

■発行所：東西不動産ホーム  
 ■2021年4月号  
 ■毎月1回発行

■本店：若手県一岡市地主町7番8-1号 TEL：0191-48-5173 FAX：0191-48-5172  
 ■東山支店：若手県一岡市東山町長崎字西本町107-3 TEL：0191-47-2955 FAX：0191-47-2885

### マーケットレポート

あなたの資産を生かす(土地から建物まで)

(社)全国宅地建物取引業保証協会会員  
 (社)若手県宅地建物取引業協会会員  
 =アパート・賃貸・買収・土地・建物仲介=

有限会社

東西不動産ホーム

E-mail : touzai2103@goo.jp

ホームページアドレス  
<http://www.touzai2103.co.jp/>  
 スタッフブログ  
<http://touzai2103.blog74.fc2.com/>



賃貸用の割合は年々増加の傾向がありますが、その賃貸用は「新型コロナウイルス」による住み替えで重視したのは、最寄り駅からの距離、資料・通勤の利便性となっています

「開け取り数・間取りプラン」「目当たり」「住む慣れ」「住み慣れたエリア」「不動産会社・サブリース」などもエッセ

「開け取り数・間取りプラン」「目当たり」「住む慣れ」「住み慣れたエリア」「不動産会社・サブリース」などもエッセ

「開け取り数・間取りプラン」「目当たり」「住む慣れ」「住み慣れたエリア」「不動産会社・サブリース」などもエッセ

「開け取り数・間取りプラン」「目当たり」「住む慣れ」「住み慣れたエリア」「不動産会社・サブリース」などもエッセ

「開け取り数・間取りプラン」「目当たり」「住む慣れ」「住み慣れたエリア」「不動産会社・サブリース」などもエッセ

### 住宅の意識調査の主な結果

- ・「賃貸派」の伸びが高く、約26%を占める
- ・住宅を借りる3大ポイントは、「家賃」「交通の利便性」「周辺・生活環境」
- ・物件情報の入手は「インターネット」が最多で、店に「直接来店」が2番目
- ・コロナ禍の住み替えは、9割強が「検討していない」

「住宅の居住志向及び購買等」に関する意識調査の結果に見る賃貸一ノス

「開け取り数・間取りプラン」「目当たり」「住む慣れ」「住み慣れたエリア」「不動産会社・サブリース」などもエッセ

「開け取り数・間取りプラン」「目当たり」「住む慣れ」「住み慣れたエリア」「不動産会社・サブリース」などもエッセ

「開け取り数・間取りプラン」「目当たり」「住む慣れ」「住み慣れたエリア」「不動産会社・サブリース」などもエッセ

「開け取り数・間取りプラン」「目当たり」「住む慣れ」「住み慣れたエリア」「不動産会社・サブリース」などもエッセ

「住宅の居住志向及び購買等」に関する意識調査の結果に見る賃貸一ノス

「開け取り数・間取りプラン」「目当たり」「住む慣れ」「住み慣れたエリア」「不動産会社・サブリース」などもエッセ

「開け取り数・間取りプラン」「目当たり」「住む慣れ」「住み慣れたエリア」「不動産会社・サブリース」などもエッセ

「開け取り数・間取りプラン」「目当たり」「住む慣れ」「住み慣れたエリア」「不動産会社・サブリース」などもエッセ

「開け取り数・間取りプラン」「目当たり」「住む慣れ」「住み慣れたエリア」「不動産会社・サブリース」などもエッセ

「開け取り数・間取りプラン」「目当たり」「住む慣れ」「住み慣れたエリア」「不動産会社・サブリース」などもエッセ

「住宅の居住志向及び購買等」に関する意識調査の結果に見る賃貸一ノス

「開け取り数・間取りプラン」「目当たり」「住む慣れ」「住み慣れたエリア」「不動産会社・サブリース」などもエッセ

「開け取り数・間取りプラン」「目当たり」「住む慣れ」「住み慣れたエリア」「不動産会社・サブリース」などもエッセ

「開け取り数・間取りプラン」「目当たり」「住む慣れ」「住み慣れたエリア」「不動産会社・サブリース」などもエッセ

「開け取り数・間取りプラン」「目当たり」「住む慣れ」「住み慣れたエリア」「不動産会社・サブリース」などもエッセ

「開け取り数・間取りプラン」「目当たり」「住む慣れ」「住み慣れたエリア」「不動産会社・サブリース」などもエッセ



調査で「不動産店に対するイメージ」は、「良い」と「普通」の合計が74%

## ニューズフラッシュ

地価動向は前期と比較して、横ばい・下落地区数が減少し、上昇地区数が増加しています

国土交通省が公表した令和2年10月1日～3年1月1日の主要都市の高度利用地区等における地価動向調査「地価LOOKレポート」の結果によりますと、地価動向は前期と比較して、横ばい・下落地区数が減少し、上昇地区数が増加しています。

商業地の再開発事業の進展等により、需要の回復が見られたことが要因とされています。そのため、上昇地区数が1地区から17地区に増え、横ばい地区数が54地区から47地区に減少し、下落地区数が45地区から38地区に減少。変動率区分は67地区で変わらず、27地区で上方に移行し、6地区で下方に移行しました。

住宅地が横ばいまたは下落から上昇に転じた地区が見られ、商業地では、横ばいまたは下落から上昇に転じた地区がある一方、上昇または横ばいから横ばいまたは下落に転じた地区も見られます。

## 賃貸住宅市場最新ニュース



春以降の緩やかな景気の向上に、期待が寄せられています

国土交通省が公表した「不動産賃借指数」によりますと、令和2年三四季平均の賃借指数でマンション・アパート(二棟)は平成22年の平均を1.0として前年比で0.6%減の1.042となり、商業用不動産賃借は前期比2.7%減の3.321、オフィス・7%減の3.211、オフィス・2.5%減の1.332となりました。

また、不動産の賃貸動向は「先行き」については、「日経平均株価」が30年ぶりの高値を更新し、ワクチン接種も明後日続く。顧客の消費マインドが向上している。(土地

## 賃貸マーケット情報

国土交通省が公表した「不動産賃借指数」によりますと、令和2年三四季平均の賃借指数でマンション・アパート(二棟)は平成22年の平均を1.0として前年比で0.6%減の1.042となり、商業用不動産賃借は前期比2.7%減の3.321、オフィス・7%減の3.211、オフィス・2.5%減の1.332となりました。

また、不動産の賃貸動向は「先行き」については、「日経平均株価」が30年ぶりの高値を更新し、ワクチン接種も明後日続く。顧客の消費マインドが向上している。(土地

また、不動産の賃貸動向は「先行き」については、「日経平均株価」が30年ぶりの高値を更新し、ワクチン接種も明後日続く。顧客の消費マインドが向上している。(土地